

CS1792/CS1794

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1792/CS1794 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011 年 8 月 23 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプター、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般	5
同梱品.....	7
本マニュアルについて.....	8
マニュアル表記について.....	9
第1章 はじめに.....	10
概要	10
特長.....	12
システム要件.....	13
コンソール.....	13
コンピューター	13
ケーブル	13
OS.....	14
製品各部名称	15
フロントパネル	15
LED ステータスパネル.....	15
リアパネル.....	18
第2章 セットアップ方法.....	19
ケーブルの接続方法.....	19
接続図	21
第3章 基本操作.....	22
概要.....	22
手動切替.....	22
ホットプラグ	23
電源 OFF と再起動	23

ポート ID の割り当て	24
第 4 章 キーボードによるポート操作.....	25
ポート切替.....	25
ポート切替(循環切替)	25
ポート切替(ダイレクト切替)	26
オートスキャン.....	27
ホットキーセッティングモード	28
ホットキーセッティングモードの起動	28
ホットキーセッティングモードの代替起動キー.....	29
ポート切替の代替キー	29
キーボード操作プラットフォーム	30
切替設定の一覧表示.....	30
USB リセット.....	30
ホットキービーブ音	31
ポート切替キーの無効化	31
ファームウェアアップグレードモード	31
デフォルト設定の復元	32
ビデオダイナシンク.....	32
マウスエミュレーションコントロール	32
その他の OS モード	32
ホットキーセッティングモード一覧表.....	33
第 5 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ.....	34
作業を始める前に	34
アップグレードの開始.....	35
アップグレード成功.....	38
アップグレード失敗.....	39
付録.....	40
製品仕様.....	40
トラブルシューティング	42
Mac キーボードエミュレーション	44
ホットキーのデフォルト設定.....	45

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントからの合計電流が 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。

- 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS1792/CS1794 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

◆ CS1792/CS1794 USB2.0 HDMI KVMP スイッチ	×1
◆ HDMI KVM ケーブル(CS1792)	×2
◆ HDMI KVM ケーブル(CS1794)	×4
◆ ファームウェアアップグレードケーブル	×1
◆ 電源アダプター	×1
◆ USB - PS/2 変換ケーブル	×1
◆ 英語版ユーザーマニュアル	×1
◆ 多言語版クイックスタートガイド	×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1792/CS1794に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

第1章 はじめに: CS1792/CS1794 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

第2章 セットアップ: ハードウェアセットアップの手順について、図で示しながら説明します。

第3章 基本操作: CS1792/CS1794 の機能概要および操作方法について説明します。

第4章 キーボードによるポートの操作: CS1792/CS1794 のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明します。

第5章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: お使いの CS1792/CS1794 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

付録 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl+ Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

第1章 はじめに

概要

CS1792/CS1794 HDMI USB2.0 KVMPスイッチは、2ポート(CS1792)または4ポート(CS1794)のKVMスイッチに2ポートのUSB2.0ハブを搭載しているというKVMスイッチの機能に革命的な新しい方向性を打ち出した製品です。さらに、CS1792/CS1794はHDMIモニター用のインターフェースを搭載しているので、HDディスプレイと統合マルチチャンネルオーディオを使ったHDMI信号の切替が簡単にできます。

KVMスイッチとしてCS1792/CS1794 HDMI USB2.0 KVMPスイッチを使用すれば、ユーザーは一組のコンソール(USBキーボード、USBマウス及びHDMIモニター)から2台または4台のコンピューターにアクセスすることができます。USBハブとしては、各コンピューターは一度に一台ずつUSB2.0ハブに接続された周辺機器にアクセスすることができます。

CS1792/CS1794は個別切替機能に対応しているので、あるコンピューターの作業中に、別のコンピューターでUSB周辺機器の作業を行うことが可能です。この機能により、別途USBハブを購入する必要がなくなるのと同時に単体で周辺機器共有デバイスを購入する必要もなくなります。

CS1792/CS1794は、旧機種 of HDMIコネクタを更に改良し、キーボードとマウスからコンピューターへの送信は早くて信頼性の高いUSB接続を通じて行うようにしています。HDMIは、デジタル入力(フラットパネルディスプレイ、データプロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタルテレビ及びセットトップボックス)に対応しています。従って、様々なディスプレイと周辺機器がCS1792/CS1794に接続でき、コンソールディスプレイで見たいソースを以下の2種類の方法で簡単に選択することができます。一つは本製品のフロントパネルにあるポート選択ボタンを押す方法と、もう一つはコンソールキーボードからホットキー入力する方法です。

デジタルオーディオの重要性の高まりを考慮して、CS1792/CS1794のHDMIインターフェースにマルチチャンネルオーディオを統合させました。このためユーザーはドルビーTrue HDやDTS HD Master Audio等のHDオーディオをお楽しみいただけるようになりました。さらに、一台のマイクロフォンで各コンピューターに音声入力ができ、また一台のスピーカーで各コンピューターの

音声出力を聞くことができます(但し、一度につき一台のコンピューターの音声入出力のみ対応)。USB 周辺機器と同様に、オーディオも KVM 操作とは別に個別切替ができます。(オーディオポートの音声のみ)

セットアップは単にケーブルを適切なポートにそれぞれ接続するだけなので、素早く簡単にできます。設定用のソフトウェアやお決まりのセットアップや互換性の問題に悩まされる必要はありません。CS1792/CS1794 はキーボードのエミュレーション機能により、Microsoft Windows、Linux や Mac のプラットフォームに対応しています。

CS1792/CS1794 HDMI USB2.0 KVMP スイッチは独特なデザインと画期的な機能を兼ね備えているので、SOHO 環境に最適です。一組のコンソールから 4 台までの HDMI 対応コンピューター、USB 周辺機器及び HD オーディオをスムーズに切り替えることができるので、CS1792/CS1794 はマルチメディア環境に最適であり、また省スペースを実現し、デスクトップ環境を能率的にします。

特長

- ◆ 2ポート/4ポート HDMI USB2.0 KVM スイッチ
- ◆ 1コンソール(USB)から HDMI インターフェースに対応した 2台(CS1792)/4台(CS1794)のコンピューター及び 2台の USB デバイスを操作することが可能
- ◆ 2ポート USB2.0 ハブ搭載
- ◆ USB2.0 仕様準拠
- ◆ KVM、USB デバイス、オーディオは個別切替が可能
- ◆ HDMI デジタルモニター対応－HDMI1.3a 準拠、HDCP 準拠
- ◆ ドルビー True HD、DTS HD Master Audio 対応
- ◆ 解像度-480i、480p、720p、1080i、1080p (1920×1200)
- ◆ ワイド画面解像度対応
- ◆ 切替方法－フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー
- ◆ マルチプラットフォーム対応－Windows 2000/XP/Vista、Linux、及び Mac
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション/バイパス機能－マウスドライバー及び多機能マウス対応
- ◆ ビデオダイナシク－コンソールモニターの EDID を保存し、解像度を最適化
- ◆ 電源状態探知機能－コンピューターの電源が OFF になると、電源が入っている次のコンピューターに自動切替
- ◆ キーボードエミュレーション機能－選択されていないポートのコンピューターもエラーなく起動
- ◆ Mac キーボードエミュレーション対応*
- ◆ オートスキャンモード－製品に接続されたコンピューターや HDMI デバイスを自動的に切替表示
- ◆ ファームウェアアップグレード可能

-
- 注意:**
1. PC 互換キーボードでもキーの組み合わせで Mac キーボードの特殊キー入力が可能。
 2. Mac 用キーボードも使用可能。(Windows マシンでは特殊キーが効きません。)
-

システム要件

コンソール

- ◆ 最大解像度に対応した HDMI 仕様準拠モニター
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード

注意: CS1792/CS1794 に同梱されている変換ケーブルを使用すれば、PS/2 キーボード及びマウスもご利用いただけます。

- ◆ マイクロフォンおよびスピーカー(オプション)

コンピューター

各コンピューターには下記が必要です。

- ◆ HDMI ポート

注意: 表示画質はビデオカードの性能に影響されます。最良の画質を得るためにも高性能のビデオカードをご購入されることを推奨します。

- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ オーディオポート(オプション)

ケーブル

CS1792 には 2 本、CS1794 には 4 本のケーブルセットが製品に付属しています。

注意: ご使用のモニターがスピーカー内蔵で HDMI を通じたオーディオに対応しているならば、HDMI ケーブルセットのコンソール側のスピーカーコネクタを使用する必要はありません。マイクroフォンジャックは適切な場所に接続するようにしてください。

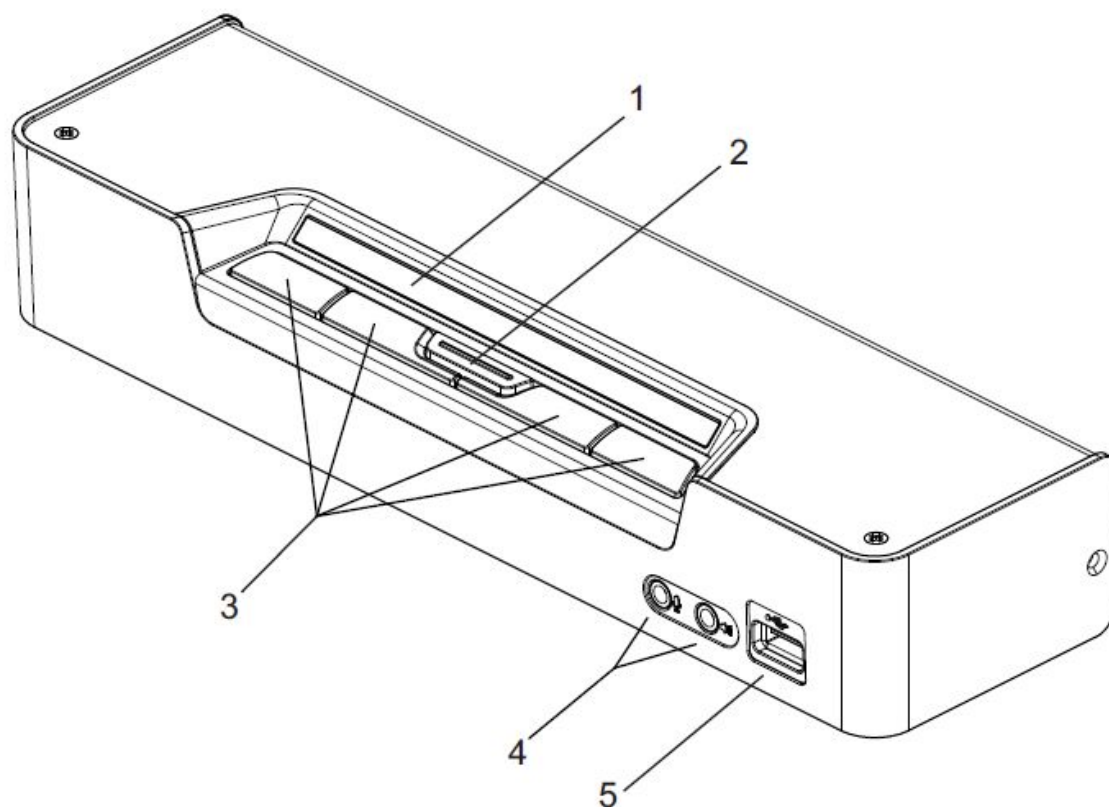
OS

本製品の対応 OS は下表の通りです。

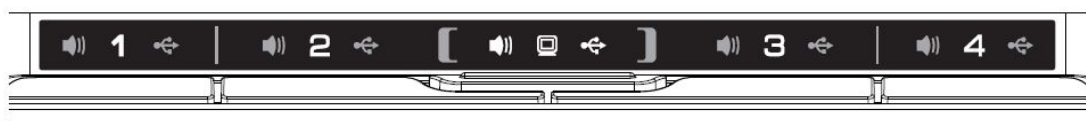
OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
UNIX	FreeBSD	3.51 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9 以降

製品各部名称



フロントパネル



LED ステータスパネル



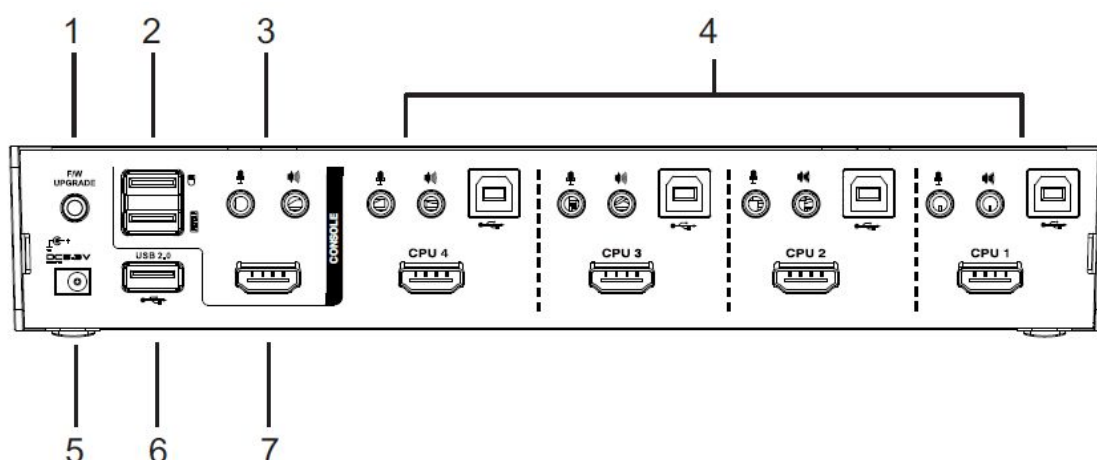
注意: この図では CS1794 が描かれています。CS1792 の各部もフロントパネルのポート選択ボタンが 2 つとリアパネルの KVM ポートセクションが 2 つしかないこと以外はこの図と同様です。

No.	名称	説明
1	LED ステータス パネル	このパネルには点灯してモードとポートの状態を示す LED アイコン があります。モードとポート選択ボタンはそれぞれオーディオ、KVM 及び USB の状態を示す LED アイコンが 3 つあります。
		モード選択 LED KVM LED のアイコンはモニターです。 
		ポート選択 LED KVM LED アイコンはポート番号です。 
2	モード選択 ボタン	このプッシュボタンで KVM 操作、オーディオ及び USB の 3 つのモ ードを循環して切り替えます。
3	ポート選択 ボタン	<p>手動でのポート切替(詳細は p.22「手動切替」参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ コンピューターにオーディオ、KVM 操作及びUSBの全てを切り替えるには、 <ol style="list-style-type: none"> a) そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。または、 b) モードボタンを1 回押した後(モードボタンの 3 つのアイコンが点灯)、次にそのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。 3 つのポートアイコン全てが点灯します。 ◆ コンピューターに KVM 操作のみを切り替えるには、モードボタンを2 回押した後(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。そのポートの KVM アイコン(ポート番号)が点灯します。 ◆ コンピューターにオーディオのみを切り替えるには、モードボタンを3 回押した後(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。 ◆ コンピューターに USBのみを切り替えるには、モードボタンを4 回押してから(モードボタンの USB アイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポート選択ボタンを押してください。そのポートの USB アイコンが点灯します。 ◆ ポート選択ボタンの1と2を同時に 2 秒間押すと、オートスキャンモードが開始されます(詳細は p.27「オートスキャン」参照)。

(表は次のページに続きます。)

No.	名称	説明
4	コンソール オーディオポート	ご使用になるスピーカーとマイクロフォンをここに接続してください。
5	USB2.0 周辺機器ポート	USB2.0 周辺機器(プリンター、スキャナー等)をこのポートに接続してください。

リアパネル



No.	名称	説明
1	ファームウェアアップグレードポート	管理者のコンピューターから CS1792/CS1794 へファームウェアアップグレードデータを転送するファームウェアアップグレードケーブルをこのコネクタに接続します。詳細は p.34 第 5 章「ファームウェアのアップグレード」を参照してください。
2	USB コンソールポート	USB キーボード及びマウスをここに接続してください。
3	コンソールアナログオーディオポート	マイクロフォンとスピーカーからのケーブルをここに接続してください。各コネクタには適切なアイコンが描かれています*。
4	KVM ポートセクション	CS1792/CS1794 とコンピューターを接続するケーブルをここに接続してください。各 KVM ポートにはマイクロフォンジャック、スピーカージャック、USB タイプ B コネクタポートと HDMI ポートがあります。
5	電源ジャック	電源アダプターからのケーブルをこのジャックに接続してください。
6	USB2.0 周辺機器ポート	USB2.0 周辺機器(プリンター、スキャナー等)をこのポートに接続してください。
7	コンソールモニターポート	HDMI モニターからのケーブルをここに接続してください。

* コンソールモニターにスピーカーが内蔵され、HDMI インターフェースを通じたオーディオに対応している場合は、別途スピーカーを使用する必要はありません。

第2章

セットアップ方法



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続方法

-
- 注意:**
1. コンソールモニターにスピーカーが内蔵され、HDMI インターフェースを通じたオーディオに対応している場合は、別途スピーカーを使用する必要はありません。
 2. セットアップしたコンピューターが HDMI に対応している場合は、HDMI KVM ケーブルのスピーカーのコネクターを使用する必要はありません。
-

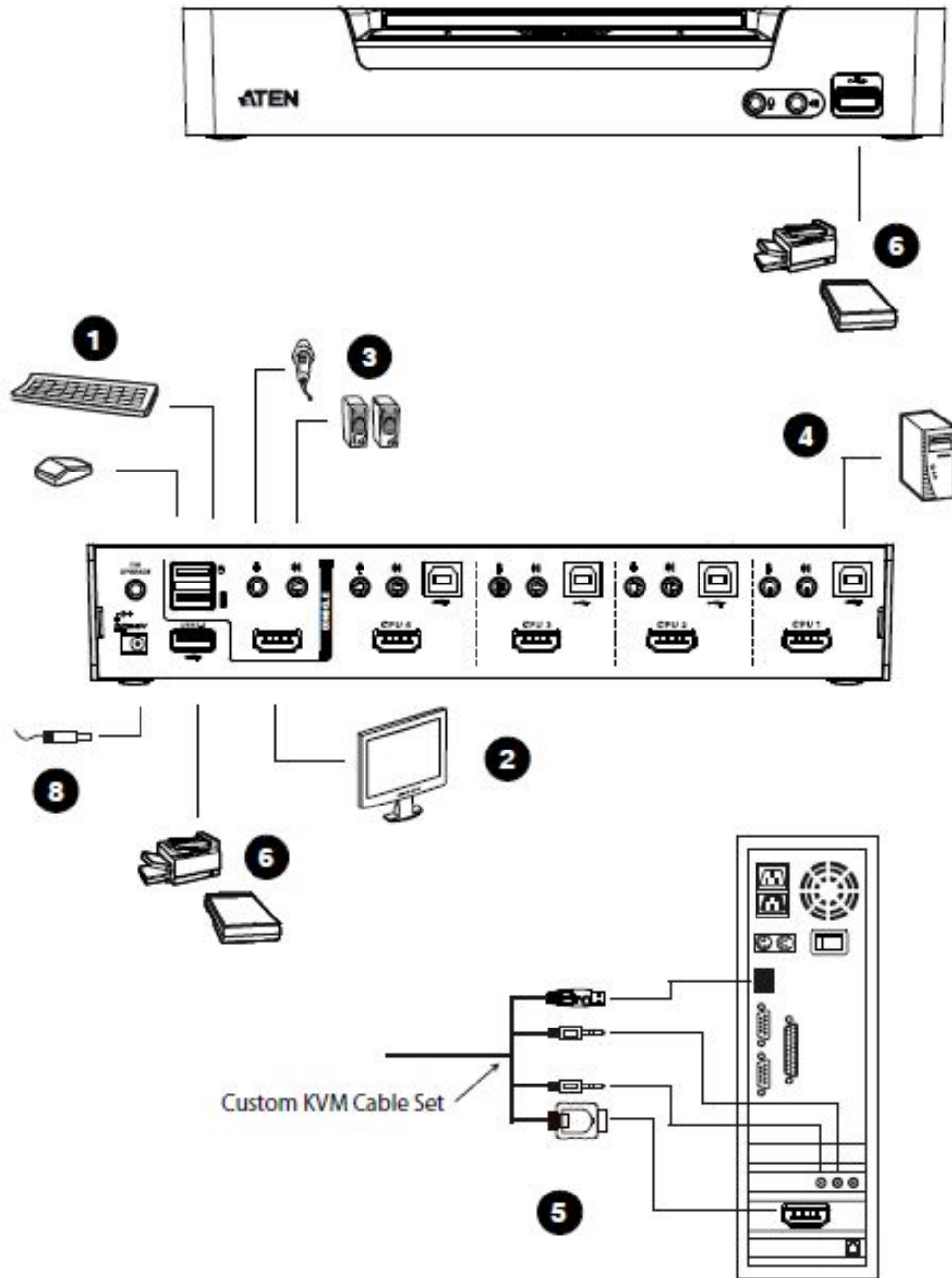
CS1792/CS1794 をセットアップする場合は、p.21 の接続図(図内における番号は手順に対応)を参考にしながら、下記の手順に従って作業を行ってください。

1. USB キーボードと USB マウスを本製品のリアパネルにある USB コンソールポートに接続してください。
2. HDMI モニターを本製品のリアパネルにあるコンソール HDMI ポートに接続してください。
3. 別途スピーカーとマイクロフォンをご使用になる場合は、本製品のリアパネルにあるコンソールアナログオーディオポートにそれらを接続してください。
4. HDMI KVM ケーブルセットの HDMI ケーブルコネクターとそれに付随する USB コネクターを本体のリアパネルのそれぞれに対応したポートに接続してください。
5. この HDMI KVM ケーブルの反対側にある HDMI と USB コネクターをコンピューターの対応するポートにそれぞれ接続してください。

(次のページに続きます。)

6. USB 周辺機器を USB タイプ A ポートに接続してください(一つはフロントパネル、もう一つはリアパネルにあります)。
7. モニターの電源を入れてください。
8. CS1792/CS1794 に同梱された電源アダプターを電源コンセントに接続してから、そのアダプターのケーブルを本製品の電源ジャックに接続してください。
9. コンピューターの電源を入れてください。

接続図



第3章

基本操作

概要

接続されたコンピューターへアクセスする方法は、手動(本製品のフロントパネルにあるモード選択ボタンとポート選択ボタンを押す)、キーボードからのホットキーの 2 種類の操作方法をご用意しております。ホットキーによるポートの選択方法は次章で詳しく説明します。

手動切替

モード選択ボタンと各ポートの選択ボタンには KVM 操作、オーディオ及び USB の 3 つのアイコンがあります。モード選択ボタンを押して対応する KVM、オーディオ及び USB モードを循環切替する際にはモード選択ボタンが点灯します。

ポート選択ボタンのアイコンは点灯して、そのポートに接続されたコンピューターの現在の状況を表します。例えばポート 3 の選択ボタンの上のオーディオのアイコンが点灯している場合は、ポート 3 に接続されたコンピューターのオーディオが現在選択されていることを表します。

手動でポートを選択する場合は以下の通りです。

- ◆ コンピューターに**オーディオ**、**KVM 操作**及び**USB**の全てを切り替えるには、
 - a) そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。または、
 - b) モードボタンを**1回**押してから(モードボタンの 3 つのアイコンが点灯)、次にそのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。3 つのポートアイコン全てが点灯します。
- ◆ コンピューターに**KVM 操作**のみを切り替えるには、モードボタンを**2回**押してから(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。そのポートの KVM アイコン(ポート番号)が点灯します。
- ◆ コンピューターに**オーディオ**のみを切り替えるには、モードボタンを**3回**押してから(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポートのポート選択ボタンを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。

(次のページに続きます。)

(前のページからの続き。)

- ◆ コンピューターに **USB** のみを切り替えるには、モードボタンを **4 回** 押してから (モードボタンの USB アイコンが点灯)、そのコンピューターが接続されたポート選択ボタンを押してください。そのポートの USB アイコンが点灯します。
- ◆ ポート選択ボタンの 1 と 2 を同時に 2 秒間押すと、オートスキャンモードが開始されます (詳細は p.27「オートスキャン」参照)。

注意: オートスキャンを中止するには任意のポート選択ボタンを押してください。その押したポートに接続されたコンピューターの KVM の操作ができるようになります。

ホットプラグ

CS1792/CS1794 は USB ホットプラグに対応しているので、機器の電源を切ることなく、USB ハブポートからケーブルを外すことによって、機器を取り外したり、追加したりすることができます。

電源 OFF と再起動

本製品の電源を切る必要がある場合は、再び電源を入れる前に下記の手順に従って操作を行ってください。

1. 本製品に接続されたコンピューターをすべてシャットダウンしてください。
2. 本製品に接続された電源アダプターを外してください。
3. 10 秒ほど経過したら、手順 2 で取り外した電源アダプターを再度、接続してください。
4. 本製品が起動したら、接続されているコンピューターの電源を入れてください。

ポート ID の割り当て

CS1792/CS1794 の各 KVM ポートセクションには、ポートナンバー (CS1792 は 1~2、CS1794 は 1~4) が割り当てられています。これらのポートナンバーは本体のリアパネルに記載されています (詳細は p.18 「リアパネル」を参照)。

コンピューターのポート ID は、これが接続されている KVM ポートナンバーに基づいて決まります。例えば、KVM ポート 2 に接続されているコンピューターには、2 番のポート ID が割り当てられています。

このポート ID は、ホットキーでポート選択を行う際に、KVM、USB 周辺機器やオーディオの操作ができるようになるコンピューターを指定するために使用します (詳細は p.26 「ポート切替 (ダイレクト切替) を参照)。

第4章

キーボードによるポート操作

CS1792/CS1794 は、KVM スイッチの操作や設定をキーボードから行うことができる、使いやすいホットキー機能を提供しています。ホットキーで KVM 操作、USB ハブ、オーディオを個別に切り替えることもできます。例えば、CS1792 では、片方のコンピューターの KVM 操作をし、もう片方のコンピューターで USB 周辺機器、またはオーディオを使用することができます。CS1794 では、1 台目のコンピューターの KVM 操作をし、2 台目のコンピューターで USB 周辺機器を使用し、残りの 2 台のコンピューターではオーディオを使用するということができます。

ポート切替

各ポート切替は、いずれも[Scroll Lock]キーを 2 回押して開始します。下表では、各ホットキーで実行できるアクションについて説明します。

注意: [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。詳細は p.29 「ポート切替の代替キー」をご参照ください。

ポート切替(循環切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM 操作、USB ハブ及びオーディオを順に次のポートへと切り替えます。(CS1792: 1→2→1、CS1794: 1→2→3→4→1) 注意: KVM 操作、USB ハブ及びオーディオがそれぞれ異なるポートにあった場合でも、全て一緒にこのポートへ移動します。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM 操作を現在のポートから次のポートへと切り替えます。USB ハブとオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブを現在のポートから次のポートへと切り替えます。KVM 操作とオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオを現在のポートから次のポートへと切り替えます。KVM 操作と USB ハブは現在のポートのままです。

ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM 操作、USB ハブ及びオーディオを直接指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM 操作を指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。USB ハブ及びオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作及びオーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作及び USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM 操作と USB ハブを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。オーディオは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM 操作とオーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブとオーディオを指定したポート ID に接続されたコンピューターへと切り替えます。KVM 操作は現在のポートのままです。

注意: 表中の **n** はコンピューターのポート ID を表します(1、2、3、または4)。詳細については p.24 「ポート ID の割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の **n** の部分に切替対象となるポート ID を適宜入力してください。

オートスキャン

CS1792/CS1794 のオートスキャン機能は、一定の時間間隔で自動的にポートを切り替えて表示する機能です。この機能によって、手動でポートの切替操作をせずに、KVM スイッチに接続された全てのコンピューターの状態を監視することができます。詳細は下表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が 5 秒間隔 で切り替わります。デフォルト設定はこの 5 秒間隔となっています。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	ポートの選択が n 秒間隔で切り替わります。

- 注意:**
1. **n** は CS1792/CS1794 が次のポートへと切り替わるまでの秒数を表しています。ホットキーを入力する際には、1~99 までの数字を **n** の部分に入力してください。
 2. オートスキャンモードが有効になっている間は、通常のキーボード/マウス操作はできません。オートスキャンモードに対応したキー入力とマウスクリックのみが使用できます。通常のコソール操作を行うには、オートスキャンモードを中止してください。
 3. コンピューターのビデオ出力画面はポートからポートへと切り替わりますが、キーボードとマウスの操作及び USB 周辺機器は切り替わらず、オートスキャンを開始したポートに留まったままの状態となっています。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードは、CS1792/CS1794 の設定を行う際に使用します。各操作を行う前には、必ずこのホットキーセッティングモードを起動します。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードを起動するには、下記の手順に従ってください。

1. [Num Lock]キーを押したままにしてください。
2. [-]キー(マイナスキー)を押して指を離してください。
3. [Num Lock]キーから指を離してください。

注意: ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。詳細は下記をご参照ください。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock と Scroll Lock の各 LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了すると、LED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、通常のキー入力やマウスの操作が無効となります。ホットキーセッティングモードで有効なキーボード入力、マウスクリックのみが操作可能となります(次章で説明します)。

ホットキーセッティングモードは、コマンドを入力後に自動的に解除されるものと、手動で解除するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを解除する場合は、[Esc]キーかスペースキーを入力してください。

ホットキーセッティングモードの代替起動キー

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力 ([Num Lock]+[-]) がコンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合にそなえ、[Ctrl]+[F12]という入力も可能です。

設定を変更する場合には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします。(p.28 参照)
2. [H]キーを入力します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

注意: この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[H] キーを入力してください。

ポート切替の代替キー

ポート切替の起動キーは[Scroll Lock]キーの2度押し([Scroll Lock] [Scroll Lock])から、[Ctrl]キーの2度押し([Ctrl] [Ctrl])に変更することができます。ポート切替の起動キーを変更する場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [T]キーを押して指を離してください。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーに交互に切り替えます。元の[Scroll Lock]キーの2度押しに戻す場合は、もう一度ホットキーセッティングモードを起動して[T]キーを押してください。

キーボード操作プラットフォーム

CS1792/CS1794 のデフォルトポートは、PC 互換のキーボード操作プラットフォームに設定されています。例えば、お使いのコンソールで PC 互換のキーボードを使用し、ポートには Mac のコンピューターを接続している場合、このポートのキーボード操作プラットフォームの設定を変更し、PC 互換キーボードで Mac キーボードをエミュレーションすることもできます。操作手順は下記の通りです。

1. プラットフォームの設定対象となるポートで KVM 操作をしてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
3. 適切なファンクションキーを押して指を離してください(下表参照)。この操作を終えると、ホットキーセッティングモードを自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。詳細は p.44 「Mac キーボード」をご参照ください。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします(キー入力はエミュレーションされずにそのまま直接コンピューターに伝送されます)。

切替設定の一覧表示

現在の切替設定一覧を確認するには、下記の手順に従ってください。

1. テキストエディターかワープロソフトを開いて、ページ画面にカーソルを置いてください。
2. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
3. [F4]キーを押して指を離し、設定を表示してください。

USB リセット

USB が認識されなくなり、リセットが必要になった場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [F5]キーを押して指を離してください。

ホットキービープ音

ビープ音を有効または無効にすることができます。ビープ音の有効/無効を設定するには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [B]キーを押して指を離してください。

この操作は有効と無効を交互に切り替えます。

ポート切替キーの無効化

ポート切替キー([Scroll Lock] [Scroll Lock] / [Ctrl] [Ctrl])を無効にするには下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [X] [Enter]キーを押してください。

注意: この操作は有効と無効を交互に切り替えます。ポート切替キーを有効にするには、手順 1 と 2 を繰り返してください。

ファームウェアアップグレードモード

CS1792/CS1794 のファームウェアアップグレードモードを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. 「upgrade」という文字を入力してください。
3. [Enter]キーを押してください。フロントパネルのLEDランプが点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、製品本体の電源を切る必要があります。

デフォルト設定の復元

CS1792/CS1794 をリセットし、デフォルトのホットキー設定に戻す場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [R] [Enter]キーを押してください。

ホットキーの設定全てがデフォルト設定に戻ります。

ビデオダイナシク

ビデオダイナシク機能を起動して、CS1792/CS1794 がコンソールモニターの EDID を保存し、解像度を最適化させる場合は、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [D]キーを押してください。

マウスエミュレーションコントロール

マウスエミュレーションを有効/無効に設定するには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [M]キーを押してください。

その他の OS モード

USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスをリセットする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを起動してください(p.28 参照)。
2. [F1]キーを押してください。

ホットキーセッティングモード一覧表

ホットキーセッティングモード(p.28 参照)を起動した後、下記のキーのいずれかを入力して、そのキーに対応した機能を実行してください。

ホットキー	機能
[H]	ホットキーセッティングモードの起動キーを、デフォルトと代替で交互に切り替えます。
[T]	ポート切替キーを、デフォルトと代替で交互に切り替えます。
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします。
[F10]	キーボードエミュレーションを無効にし、パススルーキーボードモードを有効にします。
[F4]	テキストエディターまたはワープロソフトのペースト機能を使用して、現在の切替設定を一覧表示します。
[F5]	USB キーボードとマウスのリセットを実行します。
[B]	ビープ音を有効/無効にします。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキーの設定をデフォルト値にリセットします。
[upgrade] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します。
[D]	ビデオダイナシンク機能を起動します。これはコンソールモニターのEDID を保存し、解像度を最適化するものです。
[M]	マウスエミュレーションを有効/無効にします。
[F1]	USB2.0 非対応の OS でキーボードとマウスのリセットを実行します。

第5章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

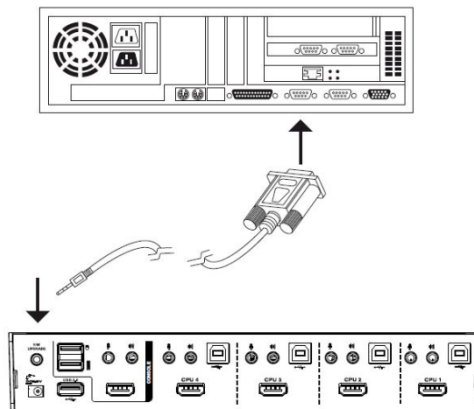
CS1792/CS1794 のファームウェアのアップグレードを自動化するために、ファームウェアアップグレードユーティリティ (FWUpgrade.exe) と呼ばれる Windows ベースの専用ツールを提供しています。

このツールは各デバイスのファームウェアアップグレードパッケージに含まれています。新しいファームウェアが利用できるようになると、弊社ウェブサイト <http://www.atenjapan.jp/> にリリースされます。弊社ウェブサイト定期的にアクセスいただき、本製品の最新ファームウェアパッケージと関連情報を入手してください。

作業を始める前に

ファームウェアをアップグレードさせる前に、以下を行ってください。

1. 製品に接続されていないコンピューターから ATEN のインターネットサポートサイトにアクセスし、お使いのデバイス (CS1792/CS1794) の型番をリストから選択して、利用可能なファームウェアアップグレードパッケージの一覧を表示してください。
2. インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
3. 本製品に同梱しているファームウェアアップグレードケーブルを使用して、お使いのコンピューターの COM ポートと本製品のファームウェアアップグレードポートを接続してください。



(次のページに続きます。)

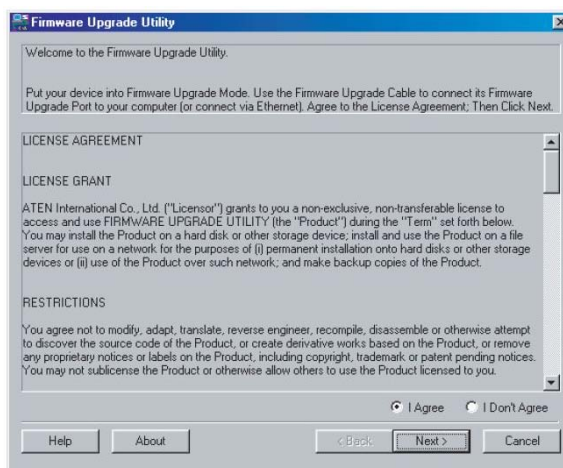
4. CS1792/CS1794 に接続されたコンピューターをシャットダウンしてください。
5. ファームウェアアップグレードモード (p.31 「ファームウェアアップグレードモード」参照) を起動してください。
フロントパネルの LED が共に点滅してファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

アップグレードの開始

注意: ファームウェアのアップグレード中は CS1792/CS1794 の電源ジャックを外さないようにしてください。

ファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従ってください。

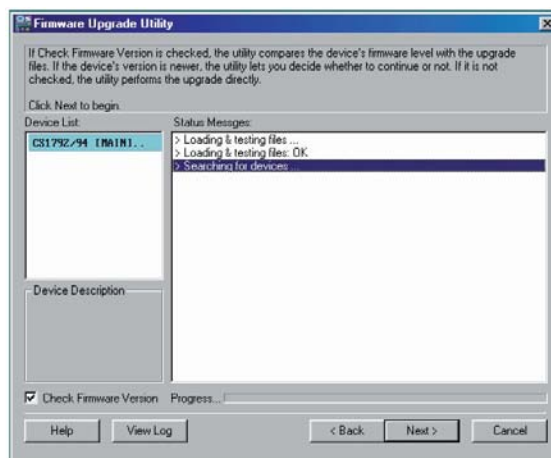
1. ダウンロード済のファームウェアアップグレードパッケージファイルのアイコンをダブルクリックするか、このファイルのフルパスをコマンドラインで指定するかして、パッケージを実行してください。
「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。



注意: 本章で使用している画面表示は参考用です。実際のファームウェアアップグレードユーティリティの画面の文言やレイアウトはこの例と多少異なることがあります。

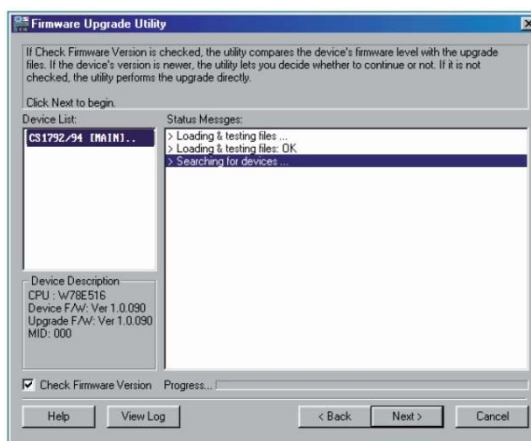
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にし「Next」ボタンをクリックしてください。

3. ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



このユーティリティはお使いのシステム構成を自動的に検出し、このパッケージでアップグレードできる全デバイスを「Device List」パネルに一覧表示します。

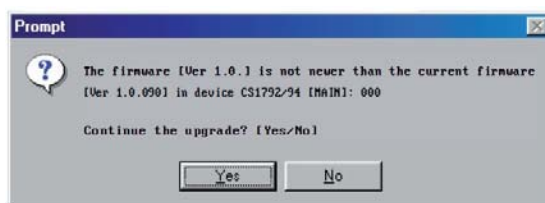
4. リストの中からデバイスを選択すると、「Device Description panel」にその説明が表示されます。



デバイスを選択したら、「Next」をクリックして、アップグレードを実行してください。

(次のページに続きます。)

5. 「Check Firmware Version」の項目を有効にすると、ユーティリティーはデバイスとアップグレードファイルの間でファームウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合は、操作を続行するかキャンセルするかの選択を促すダイアログが表示されます。

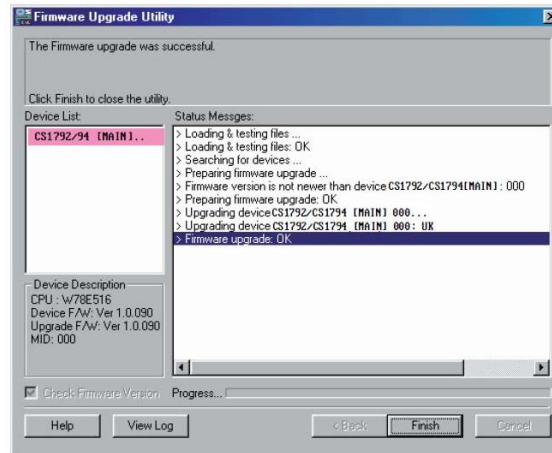


「Check Firmware Version」の項目を有効にしなかった場合、ユーティリティーはバージョンの比較を行わずにアップグレードファイルのインストールを行います。

アップグレードの進行中は、「Status Messages Panel」にステータスメッセージが表示され、「プログレスバー」に処理の進捗状況が表示されます。

アップグレード成功

アップグレードが完了すると、下図のような画面が表示されて処理が成功したことを表します。



「Finish」ボタンをクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

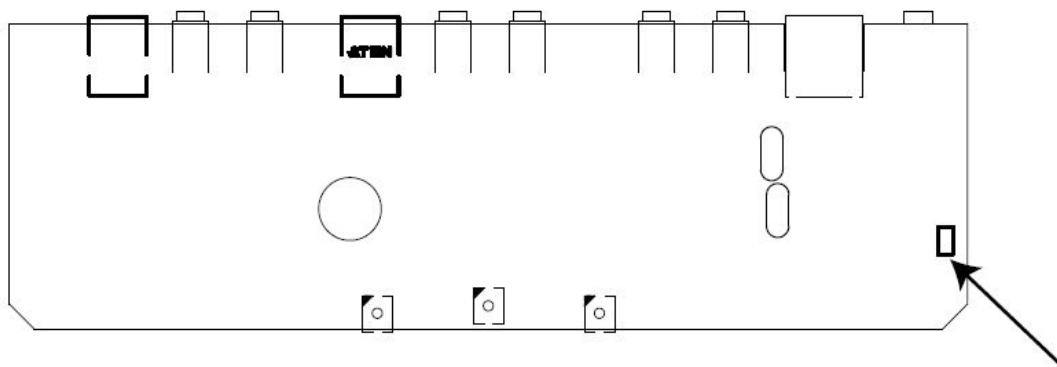
操作が成功すると、CS1792/CS1794 はファームウェアアップグレードモードを終了して、リセットを行います。

アップグレード失敗

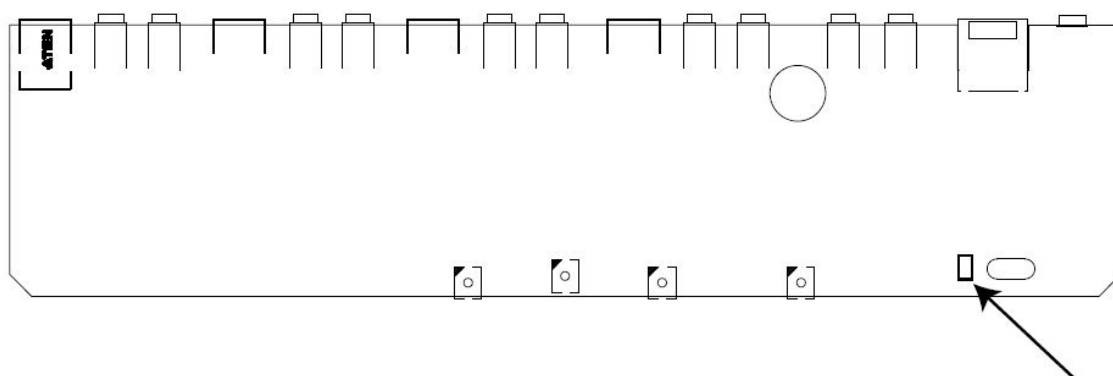
「Upgrade Succeeded」画面が表示されない場合、アップグレードが失敗したことを表します。その場合は、下記の手順に従ってください。

1. CS1792/CS1794 から電源を切った後、ケースを開けてください。
2. ジャンパーキャップを使用して、CS1792 は J11、CS1794 は J17 と書かれたメインボードのジャンパーをショートさせてください。CS1792/CS1794 のジャンパーの位置は下図の通りです。

CS1792



CS1794



3. CS1792/CS1794 の電源を入れてください。デフォルトのファームウェアが作動するようになります。
4. ファームウェアアップグレードをもう一度実行してください。
5. アップグレードが完了すると、本製品の電源を切り、J11/J17 からジャンパーキャップを取り外し、ケースを閉めてから再び CS1792/CS1794 に電源を入れてください。

付録

製品仕様

機能		CS1792	CS1794
コンピューター接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピューター側 対応インターフェ ース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側 対応インターフェ ース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		ホットキー、プッシュボタン	
コンピューター側 コネクタ	キーボード/ マウス	USB タイプ B メス×2	USB タイプ B メス×4
	モニター	HDMI タイプ A メス×2	HDMI タイプ A メス×4
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×2	ミニオーディオジャックメス×4
	マイク	ミニオーディオジャックメス×2	ミニオーディオジャックメス×4
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	HDMI タイプ A メス×1	
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×2	
	マイク	ミニオーディオジャックメス×2	
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×3	プッシュボタン×5
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
ファームウェアアップグレード ポート		ミニオーディオジャックメス×1	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
LED	オーディオ	グリーン×3	グリーン×5
	オンライン/ 選択ポート	オレンジ×3	オレンジ×5
	USB リンク	グリーン×3	グリーン×5

(表は次のページに続きます。)

機能		CS1792	CS1794
キーボード・マウス エミュレーション スキャンインターバル		USB 1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		3.2W	4.8W
VGA 解像度		1080p(HDTV)/1,920×1,200(DVI)	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		メタル/プラスチック	
重量		420g	530g
サイズ (W×D×H)		205×73×45mm	265×73×45mm
同梱品		HDMI KVM ケーブル (LIN5-28V1-V11G)×2 ファームウェアアップグレード ケーブル×1 電源アダプター×1 USB-PS/2 変換ケーブル×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1	HDMI KVM ケーブル (LIN5-28V1-V11G)×4 ファームウェアアップグレード ケーブル×1 電源アダプター×1 USB-PS/2 変換ケーブル×1 ユーザーマニュアル×1 クイックスタートガイド×1

トラブルシューティング

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず全てのケーブルが各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、製品のファームウェアをアップグレードさせることによって以前のバージョンがリリースされてから発見されたり、解決されたりした問題を解決できることがあります。現在お使いのバージョンが最新のものではない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細は、p.34 第5章「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。









問題	考えられる原因	解決方法
マウス/キーボードが反応しない。	マウス/キーボードのリセットが不適切である。	コンソールポートからケーブルを抜いて、接続しなおしてください。
	KVM スイッチのリセットが必要	セットアップされたデバイス全ての電源を切ってください(p.23 「電源 OFF と再起動」参照)。KVM スイッチの電源も切り、5 秒程経過した後、再び電源を入れてください。
USB デバイスが反応しない。	USB ポートのリセットが必要。	本体リアパネルの USB ポートからデバイスの USB ケーブルを一旦抜いて接続しなおしてください。
	PC または OS が USB2.0 に対応していない。	CS1792/CS1794 には USB2.0 ハブが内蔵されているので USB2.0 に対応していない PC または OS には対応していません。 USB2.0 に対応していない OS については、[F1]ホットキー機能を使用してキーボードとマウス機能をリセットしてください。詳細は p.32 「その他の OS モード」を参照してください。
デバイスが認識されない。(Windows の場合)	Windows がデバイスを認識するタイミングに問題がある。	コンピューターの USB ポートから KVM ケーブルを抜いてください。Windows のシステム設定の「デバイスマネージャー」から「不明なデバイス」を削除した後、KVM ケーブルを接続してください。Windows がデバイスを認識します。

(表は次のページに続きます。)

問題	考えられる原因	解決方法
[Scroll Lock]キーの2度押しのホットキーでポートの切替ができない。	キーボードが[Scroll Lock]キーによる起動に対応していない。	ポート切替の代替起動キーに切り替えてください。詳細は、p.29「ポート切替の代替キー」をご参照ください。
KVM ケーブルをホットプラグした後でモニターに何も表示されなくなる	HDMI/DVI グラフィックスカードがケーブルのホットプラグに対応していない。	使用するデバイスの電源を全て切ってください（p.23 「電源 OFF と再起動」参照）。CS1792/CS1794 の電源を切って全ての KVM ケーブルが正しく接続されていることを確認した後、CS1792/CS1794 の電源を入れ、コンピューターの電源を入れてください。

Mac キーボードエミュレーション

キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

ホットキーのデフォルト設定

工場出荷時におけるホットキーのデフォルト設定は下表の通りです。

設定	デフォルト
ポート切替	[Scroll Lock][Scroll Lock]
ホットキーセッティングモードの起動	[Num Lock][－]
オートスキャンのインターバル	5 秒間
ビープ音	有効
キーボード操作プラットフォーム	PC 互換
ポート切替キー	有効
マウスエミュレーション	有効